

現場
代理人
レポート

筑後川下流福岡国営施設 機能保全事業

幹線水路岩神線(久末工区)改修工事

本地区の前歴事業である国営筑後川下流土地改良事業は、大規模な用排水システムの再編により、用排水路、排水樋門等の基幹的な農業水利施設の整備を行い、農業用水の安定供給及び排水不良の解消を図るとともに、併せて、関連事業により、末端用排水施設の整備や区画整理を一体的に実施することで、営農の合理化・複合化を促進し、生産性の向上と農業経営の安定を図ることを目的として、昭和51年度から平成21年度にかけて実施されました。

しかし、経年的な施設の劣化により、用水路においては管材のひび割れやたわみの進行による性能低下が生じています。今後、更なる性能低下により、農業用水の安定供給及び排水機能に支障をきたさないよう、国営施設機能保全事業で農業水利施設の機能を保全するための整備を行い、長寿命化による農業用水の安定供給を図ることとされています。

本工事は、用水路の改修工事として、鞘管工法により既設FRPM管(内径φ1,100mm)内に鋼管(内径φ976mm)をL=511m埋設する工事です。鞘管工の工事は、農閑期の3月初旬から5月下旬の3ヵ月で施工を完了させなくてはならないという制約がありましたが、無事完成させることができました。

今後は、立坑の撤去・仮設ヤードの撤去を行い6月末には、全体工事を完了する工程で進めています。筑後川下流福岡農業水利事業建設所の方々のご指導・ご協力も賜り、これまで無事故で推移しております。最後まで気を抜くことなく無事に竣工することを目標に、職員一同努めてまいります。



監督職員からのエール

本工事は、現道下に埋設されているFRPM管が経年劣化に伴いひび割れやたわみが進行し機能低下を起こしているものを、鞘管工法により既設管内に鋼管を埋設する特殊な工事となっています。

また、幹線水路岩神線の通水停止期間は3月1日から5月31日までとなっており、通水に影響を及ぼさないようにその期間内に工事を行わなければならないことや、現場は、コントリーエレベーターに隣接しており、麦の収穫時には麦を積んだトラックが例年5月25日より現道に並び渋滞するところとなっており、コントリーエレベーター関係者及び利用者へ工事の説明や根回しを行い、地元で迷惑を掛けないよう工事を頑張っていました。

このような制約の中での工程管理、安全管理及び品質管理を行いながらの施工に感謝いたします。工事も終盤を迎えましたが、引き続き、無事故無災害で工事が完成することを願っています。

監督職員

(写真左) 九州農政局筑後川下流福岡農業水利事業建設所
工事課長 村上 明則

現場代理人

(写真右) アイサワ工業株式会社

柳川作業所 田中 正弘

